

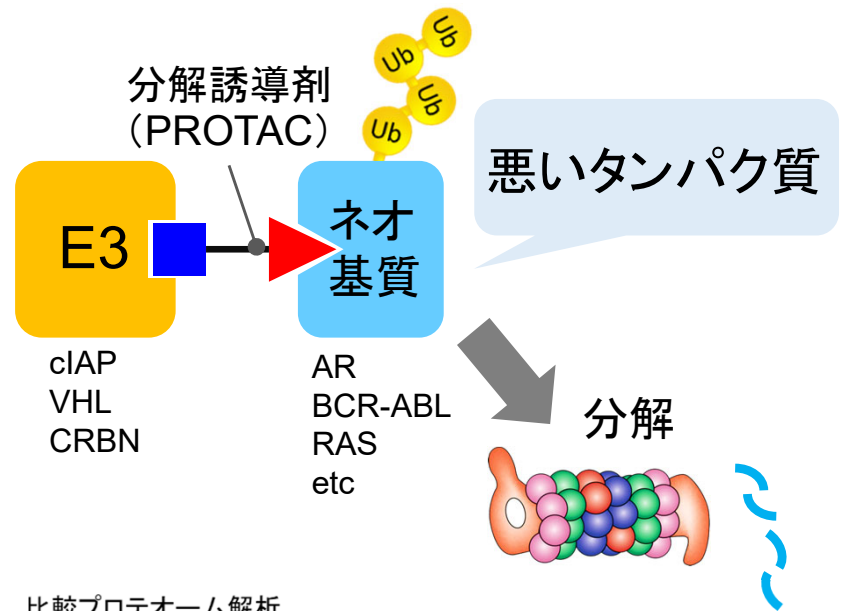
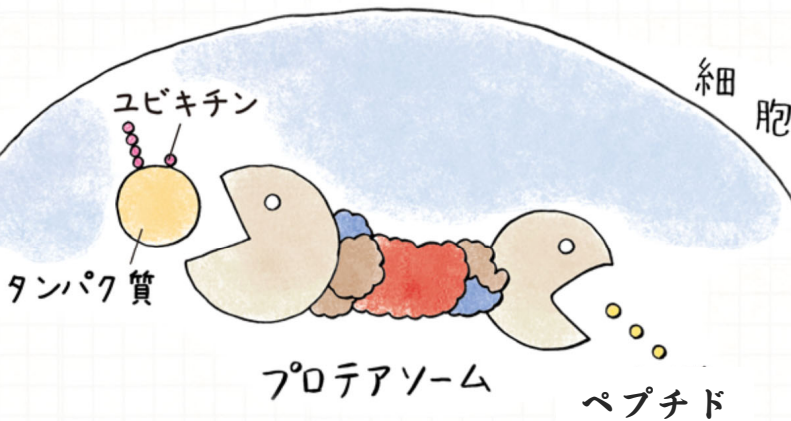
「標的タンパク質分解誘導剤」の合理的設計に資する基盤研究

タンパク質代謝制御分野

生体内の主要なタンパク質分解経路としてユビキチン・プロテアソーム系(UPS)があります。近年、UPSを利用して、がんや神経変性疾患などの原因となる有害なタンパク質を狙って分解する化合物「標的タンパク質誘導剤」が、新世代の創薬技術として注目されています。当研究室では、UPSの詳細な分子メカニズムの解明、ユビキチン・プロテオミクス解析法の開発により、「標的タンパク質分解誘導剤」の評価や合理的設計に資する基礎研究を推進しています。

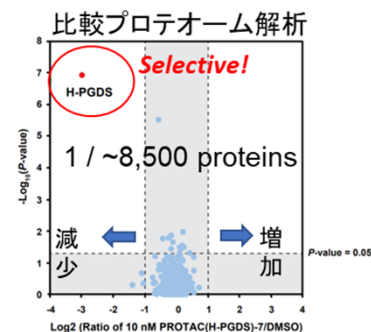
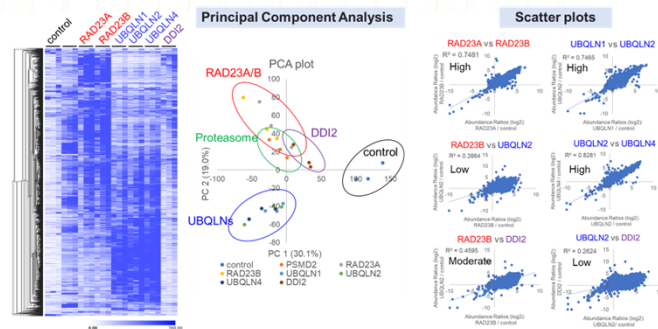
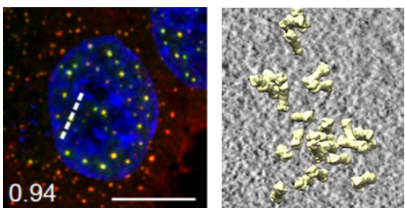
ユビキチン・プロテアソーム系

標的タンパク質分解誘導剤



プロテアソーム制御分子のプロテオミクス解析

プロテアソーム局在変動



質量分析計 (LC-MS装置)

